

発行所こだいらの未来を考える会

代表 岩本 誠 〒187-0042

小平市仲町210-2-203

小平市議会議員

https://kodairaiwamoto.com

kodairaiwamoto@gmail.com

080-1269-2770



こだいら未来新聞

2025年(令和七年)

号外夏秋号

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

SAFによる資源循環の火を消さないために



小平市の市役所・地域センター等24拠点で廃食用油回収が行われるようになった。廃食用油の再利用の最新事情を含め、市議会でも確認しました

欧州に続き日本での動きも活発化してきた。令和6年12月に大阪府堺市に精油設備の建設が完了し、令和7年に本格稼働始めた。東京都も東京2025デフリンピックで来場した選手をクリーンな燃料で飛ぶジェット機で送つ

ていくために廃食用油を回収するキャンペーンを進めることになった。小平市も連携し5月1日からその回収を開始した。とても素早い小平市資源循環課の対応に感謝したい。今回更なる資源循環活動を進めるため一般

質問で取り上げた。市の答弁で、**小平市の家庭から廃食用油の推定量は百50トンでそのうち回収できているのは0.4%で、700kg程度に過ぎない**ことが分かった。航空燃料として再生できるものを、固めて捨てる、新聞紙



に吸わせて捨てる、という家庭も多い、なんともつたいないことか。今回、東京都が旗を振り、期間限定ではあるが実施しているキャンペーンを通じて、次の一手を考えたい。キャンペーン終了は10月末。まずはしっかりと広報活動をして、市民一人ひとりが参加しやすい事業にしたい。

回収方法も従前は、リサイクルセンターに持ち込んで油を個別に注ぎ込むところまで市民の皆さんにお願いしていたが、ペットボトルにいられてそのまま投入してもう一つで参加の障壁が格段に下がっている。

まだ、道半ばであるが、自分が使った廃食用油で飛行機を飛ばすというスケールの大きい資源循環活動に、是非参加してほしい。

【用語説明】

SAFとは持続可能な航空燃料のことで、廃食用油やサトウキビ等から生成される燃料のことです。従来の石油由来の航空燃料に比べ温室効果ガスの排出量を大幅に削減できる。

小平の道路・下水道管の安全のために

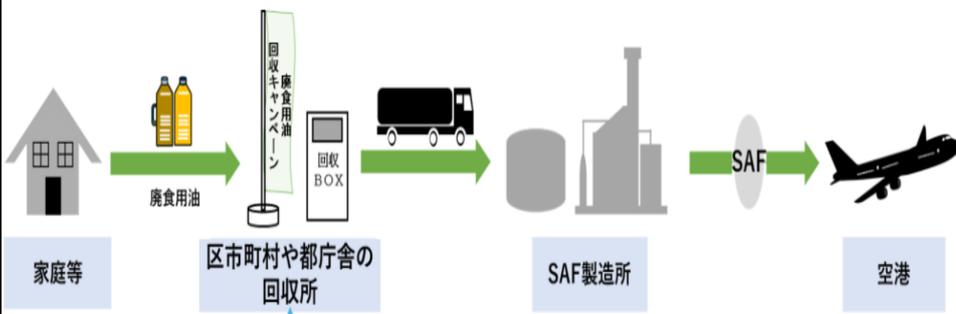


前号に続いて小平の下水道についてレポートする。

令和7年1月28日の八潮市の道路陥没事故を受けて小平市でも緊急点検を実施した。ま

た7年度予算にスマホを使った道路AI点検も予定されているが道路上からの点検では十分ではない。3月18日国土交通省から実施要請があった内容と対す

回収した廃食用油は、国内初のSAFの大規模製造所（大阪府堺市）にてSAFに精製され、東京国際空港（羽田空港）など国内の空港に運ばれ、航空機の燃料として使用されます。 出典 東京都環境局HP



る小平市の工程は、下表のとおり。これにより安全なインフラ管理を進めることになる。更に今後検討するものとして、光ファイバーを敷設して自動で不具合を検知するシステムが示されており、その開発導入に期待したい。いずれインフラ管理には資金がかかることを我々も承知しなければならぬ。まずは市内にある「ふれあい下水道館」を活用し現状理解を深めたい。

- 対象 直径2メートル以上かつ令和6年度以前に設置された管路
- 方法 すべて目視またはテレビカメラによる点検
- 期間 令和8年2月まで
- 距離 約10キロ 青梅街道、府中街道、緑川通りなど

令和7年度小平市一般会計補正予算(2号)のポイント 5億260万追加計上

内容	ポイント	金額
低所得世帯支援給付金	定額減税にかかわる不足額給付	3億9168万円
新型コロナウイルスワクチン定期接種	市と被接種者ほぼ、折半予定	2983万円
PFOS等の地下水調査	前回調査で基準値を上回ったところ16か所の経年調査を予定	65万円
商店会に防犯活動の支援	防犯カメラ設置補助	101万円
市立小学校における朝の学校施設開放の施行実施	①対象→3校(5小、学園東小、上宿小)で9月から ②時間→朝7時~8時30分 ③場所→基本体育館 ④費用→無料 ⑤見守り人数 2名予定 ＜懸念事項＞ 地域交通安全の見守り時間も影響、懸念がある。	361万円

補助金の見える化と電子申請状況

物価高騰対策や省エネ施策などで 補助金等が直接交付される事業(貸与含む)が新設継続された。補助対象品目も複雑になっていく。また予算上限に数

人をより小さくすること、公平公正に、かつ効率的に制度を進めることを目的に、一般質問として取り上げることにした。

具体例として、①自転車乗車用ヘルメットの補助金②省エネ家電等買換促進補助金③自動通話録音機の貸し出し、について問題点と改善点を示した。

まずは、補助金制度を知らなかったという

特に、3年間継続している事業である①自転車

車乗車用ヘルメットの補助金に関しては、市内自転車店舗以外、特にネットショップで購入したのも対象にすること、手続きと電子申請可能とすること②省エネ家電等買換促進補助金では、公平性を保つために現状の先着順から抽選式を検討すること③自動通話録音機の貸し出しについては、防犯効果が高いことから希望する

る全世帯に対応することを提案した。

総論として、デジタルでの情報発信として、誰もが必要な時に、市の補助金一覧やその最新状況が確認できる「補助金ガイドページ」を作成することや、申し込んだ補助金申請の状況がわかる機能を新設することも併せて提案した。今後DXの力で「見える化」が一層進むことを期待する。

また紙面での発信として、市報こだいらと市民便利帳に補助金一覧を特集掲載することをも有効と考える。

給食の無償化は進んだが...

区内に勤務の栄養士の方から給食費の無償化が進み、いいことだと思いが、決められた費用で献立が立てられない、という話も聞かされた。無償化を進めることに専念し、物価高騰への配慮や検証が後追いついてきているのだから、またコメの値段が5キロ4千円を超える物価高騰で各所でひずみも出ている。

一方、6月27日NHKニュースで府中の給食センタに外国産鶏肉

編集後記

昨年からスマホアドバイザー資格を取得し、小金井市で講師を始めました。現在のスマホは、感覚で機能にたどり着く仕組みで、使い勝手はいいのだが、初心者には指図するには、特に最適で分かりやすい方法をお知らせしなければならぬ。受講生とともに調べるようでは講師は務まらない。講師としてさらに経験を積んで、スマホがキーデバイスとなる時代に備えたい。

また、最近小平国際交流協会の方とお話をし、日本語教師が不足しているというのも伺った。4百20時間の研修受講が一つの条件であるらしい。日本語で育った人でも、しっかり研修を受けないと先生として活躍できない。

東京都議会議員選(小平市選挙区) 開票結果

当	松岡あつし	25,263
当	竹井ようこ	22,049
	磯山りょう	14,981
	大塚さいち	9,322
投票率45.82% (前回無投票)		

<編集者プロフィール>
市議会議員 岩本誠
1963年且兵庫伊丹市生まれ
高校時代ラグーマン
故郷 大阪吹田市/滋賀県甲賀市
趣味 写真/映画鑑賞/熱帯魚飼育
資格 スマホアドバイザー

最近の活動から



上段左から①小平肢体不自由児父母の会参加 ②第一中学校運動会見学
③立憲民主党辻元代表代行と活動
下段左から④地元人気のワルビィと ⑤都議選 応援模様

このスマホアドバイザーと日本語教師、どこか共通点があるように感じる。それは、使うことはできて、人に教えるのは難しいという点であらう。

事務所案内



修学旅行の思い出

今月の一枚

郵政 国政にもつながります

参議院議員 奥村政佳(東京選挙区)と活動しています(2025年6月末現在)